

令和 8 年 1 月 27 日

小規模多機能ホーム きいちご俱楽部
令和 7 年度第 5 回 地域運営推進会議

出席者 民生児童委員

地域代表委員

出雲市高齢者福祉課

出雲市高齢者あんしん支援センター

理事長、管理者、計画作成担当

配布資料

- ①会議資料（本資料）
- ②小規模多機能型居宅介護サービス提供状況報告書
- ③きいちご便り no. 48

資料に従って説明が行われる。

1. ご利用の登録状況

1 月 25 日現在、登録利用者は 14 人です（登録定員：25 人）

要介護度と男女別の人數は次のとおりです。

	男性	女性	計
要介護 1	4	4	8
要介護 2	1	2	3
要介護 3	0	1	1
要介護 4	0	1	1
要介護 5	0	1	1
計	5	9	14

平均要介護度：1.86

年齢と男女別の人數は次のとおりです。

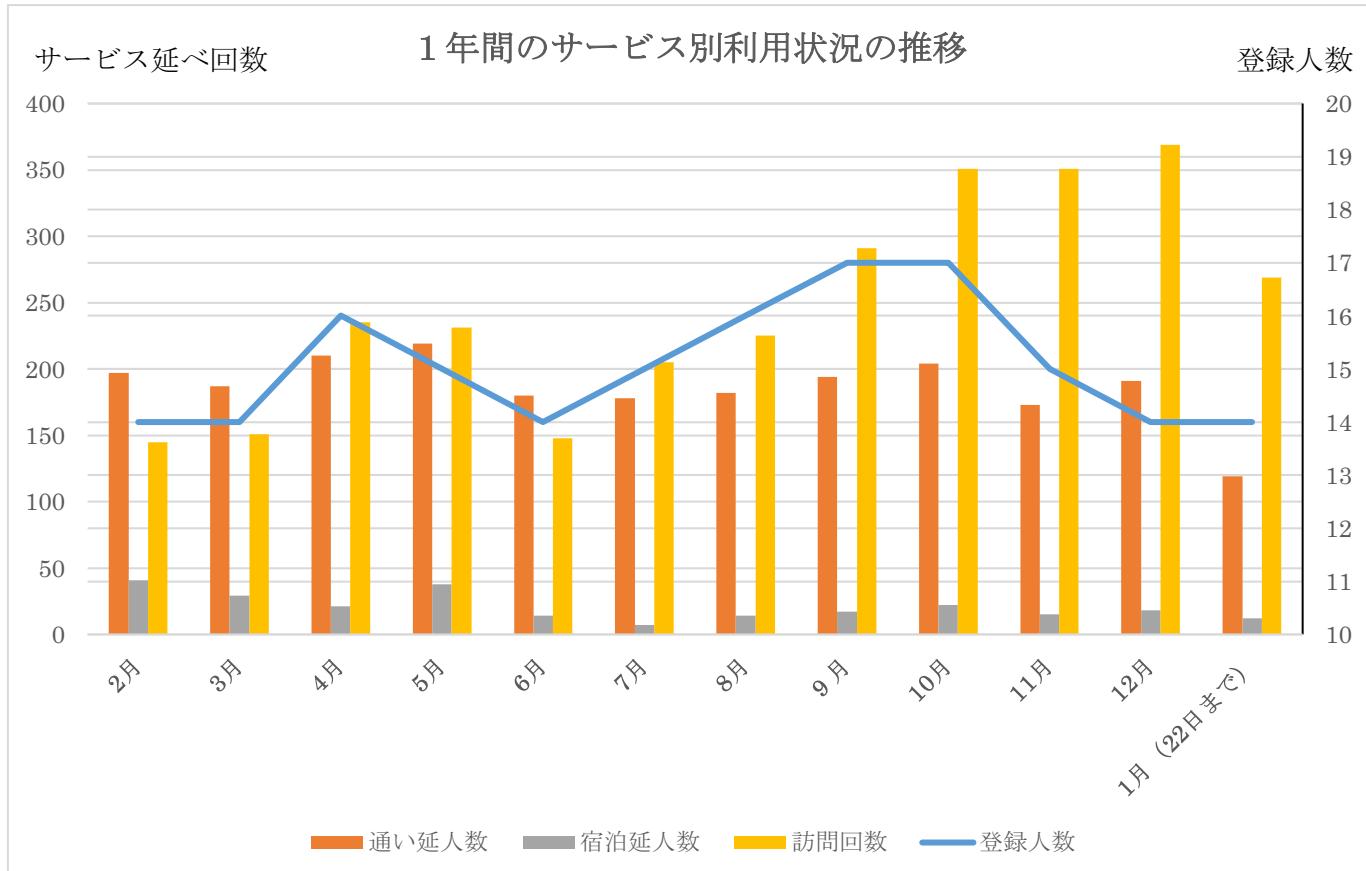
年齢	男性	女性	計
60 歳代	1	1	2
70 歳代	0	0	0
80 歳代	4	4	8
90 歳代	0	4	4
計	5	9	14

平均年齢：85.5 歳

2. サービス提供状況の推移

最近3カ月の実績（延べ回数）

	登録者数	通い	訪問	泊り
11月	15	173	351	15
12月	15	191	369	18
1月(22日まで)	14	119	269	12



別紙「小規模多機能型居宅介護 サービス提供状況報告書」もご覧ください

委員：「状況報告書」を見ると1週間に通いを2回利用し、更に毎日訪問を3回受けているケースもあるが。

管理者：通っていただいた後、お送りして、洗濯をお手伝いしたり、朝昼晩のご飯をお届けしたり、薬を配薬したりしている。

3. 行事・レクリエーション・活動など

別紙「きいちご便り no.48」をご覧ください。

管理者：ご利用者のご希望で新年に初詣を行ったり、忘年会や餅つき、新年会など季節の行事を実施して、ご利用者に喜んでいただくようにした。

理事長：とんどさんでは子供たちと一緒に参加していただいて、中にはとんどさんをこんな近くで見たのは初めてだよ、と言われた方もあった。

4. 研修

<内部研修>

12月職員会 ハラスメント防止、感染予防
1月職員会 身体拘束・虐待防止（1月27日予定）

<外部研修>

事故防止（1月中旬受講済み）（介護労働安定センター オンライン）
虐待防止（1月末受講予定）（島根県社会福祉士会 オンライン）

5. 事故、ヒヤリハット：12月～1月（23日まで）

<事故> 1件

利用者：要介護1、90歳代の女性

発生時の状況：10時ころ、自宅から通いに出かける際に玄関でバランスを崩して転倒する。

怪我など：すぐに自分で立ち上がり歩行する。痛み等の訴えはない。入浴時の観察でも身体に異常は見られなかった。遠方の家族に電話で報告し了解される。

対策：同じ自宅からでかけるご利用者の車の乗りこみが終わってから、近くで付き添って出かける。

<ヒヤリハット・インシデント>

27件挙げられた。その内容別の件数は次のとおり。

薬	9件	(日付の記入誤り、セットし忘れ、自宅で以前の薬が落ちていた)
尻もち・転ぶ	3件	(自宅で起きた)
傷	1件	(職員が利用者宅で食器洗い物中、欠けた茶碗で手を切った)
のみ込み	1件	(餅つきのもち)
送迎	2件	(シートベルト外す、外で待っている)
機器設定	1件	(センサー設定し忘れる)
持ち物	4件	(持ち帰り忘れなど)
施設	3件	(水出しつぱなし、窓開いてるなど)
記録・連絡	2件	(連絡帳の記述の誤りなど)
その他	1件	

6. 宿泊費の改定について

宿泊の際の費用を次のように改定したい。

1泊 現行 2,500円 → 改定後 2,800円（サービス提供月 令和8年3月分から）

宿泊費については令和3年に2,200円から2,500円に改定した経緯がある。その後の電気代等経費の上昇から再度改定したい。なお、出雲市的小規模多機能型16事業所の宿泊費は次のようになっている。

宿泊費（円）	1,800	2,000	2,200～2,400	2,500	2,800
事業所数	1	5	3	6	1

（介護サービス情報公表システムによる）

委員：小規模多機能は経営が難しいと聞くので、この程度の改定はいいのではないだろうか。

委員：宿泊を増やすために、金額を引き下げるところもあるようだが。

きいちご：宿泊費の増により宿泊を控えられることにつながらないよう最低限の改定を意図した。

委員：5年前からのインフレを考慮するとこの程度の改定は致し方ないと思う。

7. 管理者の交代

1月1日付 旧：

新 :

8. 外部評価 今後の予定

- 1月 27日 スタッフ自己評価の結果についての2回目の話し合いを職員会で行う。
- 2月 職員会で事業所自己評価の確定と次年度の目標を定める。
- 3月 運営推進会議で委員による評価を議論いただく
- 4月 委員による評価をもとに評価総括表（案）を作成
- 5月 運営推進会議で評価総括表（案）を検討いただき、それが確定後、事業所自己評価とともに出雲市に提出

きいちご：次回は委員の方に評価のことをお願いしたいと思います。それまでに評価をしていただけるように資料をお送りします。なるべくスムーズに時間内に終えることができるよう、評価判断のための資料も添付したいと思います。よろしくお願ひします。

9. その他

- ・1月 6日の地震 人的、施設被害なし。ものが落ちる、倒れるといったこともなかった
- ・火災総合訓練（1月 15日）を実施

以 上